

第四章 「技能連携制度の整備拡充」下の実態

技能連携制度は、すでに明らかにしてきた通り、昭和42年の技能連携関係法令の一部改正によって、一段と整備拡充されることになった。本章では、このように整備拡充された技能連携制度が、その制度改革から現在までにおいて、どのように実施されていったかを明らかにしたい。この実態を解明することによって、われわれは、(1)昭和42年の制度改革意図と実態とのギャップ、(2)そのギャップの実態を把握し、昭和42年法下の技能連携制度の特徴と課題、を指摘できるのである。

このために、その実態分析は量的側面と質的側面の両側面から行なわれる。前者からの分析は、次の6事項にわたって行なわれる。(1)技能教育施設の年度別指定状況、(2)技能教育施設の種類別地域分布、(3)代表五県にみられる種類別指定状況、(4)企業間格差の有無について、(5)連携高等学校の課程別指定状況、(6)指定解除について、である。後者からの分析は、次の4事項にわたって行なわれる。(1)連携教科目の拡大について、(2)公共職業訓練校が連携技能教育施設になったことについて、(3)各種学校について、(4)准看護婦養成所について、である。

第一節 技能連携の量的実態

昭和42年の技能連携「指定の基準」改正後の指定技能教育施設一覧は表Ⅳ-1のとおりである。この表に基いて、量的実態を明らかにすることにする。その第一は、技能教育施設の年度別指定状況についてである。その状況は表Ⅳ-2の通りである。⁽¹⁾この表から明らかな通り、技能教育施設数は、昭和43年度には一挙に170か所に増加した。このことから、昭和37年度から昭和42年度までの6年間の指定総数が59か所であったことと比較すると、大幅な「指定の基準」の緩和があったことを指摘できる。

その第二は、指定技能教育施設の種類別地域分布状況についてである。その状況は表Ⅳ-3のとおりである。⁽²⁾現在までに全く指定技能教育施設の存在しない県は鳥取・宮崎・沖縄の3県である。技能教育施設の拡大によって、ほぼ全県に分布していると言える。最も、技能教育施設数が多いのは愛知県の38か所である。これにつづいて神奈川県が31か所、福岡県が28か所、大阪府が25か所、富山県が21か所となっている。このことから、やはり都市部に集中している

(1) 本論文ページ106～126 参照。

(2) 本論文ページ127 参照。

表Ⅳ-1 指定技能教育施設一覧 昭和47年5月29日現在

	指 定 技 能 教 育 施 設			連 携 高 等 学 校			
	指定日	告示日	所在地	技能教育施設の名称	施設の種類	連携高等学校の名称	課程 教科 学 科
60	4.3. 4.16	4.3. 4.23	岡 山	住友重機械工業㈱浦賀造船所技能者養成所	高等職業訓練校	倉敷市立工業高校	工業 夜間定時制 機 械 科
61	"	"	大 阪	大阪総合高等職業訓練校	総合高等職業訓練校	大阪府立成城工業高校	" 機械工学科
62	"	"	香 川	香川総合高等職業訓練校	"	香川県立高松工業高校	" 機 械 科
63	"	"	"	香川県立高松高等技術学校	専修職業訓練校	"	" 建 築 科
64	"	"	"	香川県立丸亀高等技術学校	"	香川県立多度津工業高校	" 機 電 科
65	4.3. 5.29	4.3. 6. 7	兵 庫	川崎製鉄㈱技能訓練センター 日東紡績㈱郡山工場 郡山高等学園	高等職業訓練校	兵庫県立青雲高校	" 一般通信制 普 通 科
66	4.3. 6. 6	4.3. 6.26	福 島	鐘淵紡績㈱東京工場 文化学院	家庭系各種学校	向陽台高校	家庭 広域通信制
67	"	"	東 京	鐘淵紡績㈱南千住工場 紡文化学院	"	"	"
68	"	"	"	鐘淵紡績㈱高岡工場 野自由学院	"	日本放送協会学園高校	" 広域通信制
69	"	"	富 山	富山県立富山高等技術学校	専修職業訓練校	富山県立富山工業高校	工業 夜間定時制 生産機械科
70	"	"	"	鐘淵紡績㈱長野工場 若里自由学院	家庭系各種学校	日本放送協会学園高校	家庭 広域通信制 普 通 科
71	"	"	長 野	鐘淵紡績㈱丸子工場 子高等文化学院	"	"	"
72	"	"	"				

73	43.	6.	6	43.	6.26	岐阜	ユニテカⅱ垂井工場伊富 岐高等学院	家庭系各種 学校	日本放送協会学園高校 向陽台高校	広域通信制	家庭	普通科
74			"		"	"	オーミⅱケンシⅱ大垣工場 オーミⅱケンシⅱ大垣淑徳学 園	"	向陽台高校	"	"	"
75			"		"	"	オーミⅱケンシⅱ中津川工場 オーミⅱケンシⅱ中津川高等 学院	"	"	"	"	"
76			"		"	静岡	日清紡績ⅱ藤枝工場清心 高等学園	"				
77			"		"	"	日清紡績ⅱ島田工場富士 見学園	"				
78			"		"	"	日清紡績ⅱ浜松工場松栄 高等学院	"				
79			"		"	"	富士紡績ⅱ鷺津工場湖山 文化学院	"				
80			"		"	"	富士紡績ⅱ小山工場小山 学園	"	向陽台高校	広域通信制	家庭	家政科
81			"		"	"	鐘淵紡績ⅱ静岡工場鐘紡 芙蓉学院	"	日本放送協会学園高校	"	"	普通科
82			"		"	"	日東紡績ⅱ静岡工場日東 静岡高等学院	"	向陽台高校	"	"	被服科
83			"		"	"	オーミⅱケンシⅱ富士宮工 場オーミⅱケンシⅱ富士宮高 等学院	"	"	"	"	普通科
84			"		"	愛知	帝人ⅱ名古屋工場帝人名 古屋高等家政学院	"	"	"	"	家政科
85			"		"	"	グンゼⅱ江南工場江南高 等家政学校	"	"	"	"	"
86			"		"	"	帝国紡績ⅱ稲沢工場国府 官高等家政学園	"	"	"	"	"
87			"		"	"	小杉ⅱ小杉高等家政学校	"	"	"	"	"
88			"		"	"	日清紡績ⅱ針崎工場付属 竜城高等学園	"				

89	43.	6.	43.	6.26	愛 知	日清紡績名古屋工場 附属高等学校	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校					
90		"		"	"	豊田紡績大口工場明光 高等家政学校	"						
91		"		"	"	豊田紡績北第一工場南 城高等学校	"						
92		"		"	"	豊田紡績刈谷工場刈谷 女子高等家政学校	"	向 陽 台 高 校	広域通信制	家庭	家 政 科		
93		"		"	"	ユニチカ豊橋工場明華 高等学校	"	"	"	"	"	"	
94		"		"	"	富士紡績小坂井工場富士 紡小坂井女子高等実業 学園	"						
95		"		"	"	東海産業医療団付属准看 護婦学校	准看護婦養成 所	愛知県立桃陵高校	夜間定時制	看護	衛生看護科		
96		"		"	"	名古屋市医師会准看護婦 学校	"	"	"	"	"	"	
97		"		"	三 重	鐘淵紡績松阪工場鐘愛 女学院	家庭系各種 学校	日本放送協会学園高校	広域通信制	家庭	普 通 科		
98		"		"	"	鐘淵紡績四日市工場鐘紡 四日市高等実務学校	"	"	"	"	"	"	
99		"		"	滋 賀	オーミケンシ根工場 オーミケンシ根高等女 学院	"	向 陽 台 高 校	"	"	"	"	
100		"		"	"	小坂製麻根工場清明 高等学院	"	"	"	"	家 政 科		
101		"		"	"	鐘淵紡績根工場鐘紡 彦根文化学院	"	日本放送協会学園高校	"	"	普 通 科		
102		"		"	京 都	鐘淵紡績京都工場洛北 高等女学院	"	"	"	"	"	"	
103		"		"	大 阪	ユニチカ貝塚工場貝塚 高等学院	"	向 陽 台 高 校	"	"	"	"	

104	43. 6. 6	43. 6. 26	大 阪	帝国産業 $\times$ 帝国産業高等学園	家庭系各種 学校	日本放送協会学園高校	広域通信制	家庭	普通科
105	"	"	"	鐘淵紡績 $\times$ 淀川工場淀川文化学院	"	"	"	"	"
106	"	"	"	鐘淵紡績 $\times$ 住道工場住道学園	"	"	"	"	"
107	"	"	兵 庫	東洋紡績 $\times$ 赤穂工場赤穂高等女学院	"	兵庫県立赤穂高校	夜間定時制	"	"
108	"	"	"	小泉製麻 $\times$ 清明高等学院	"	向陽台高校	広域通信制	"	家政科
109	"	"	"	鐘淵紡績 $\times$ 高砂工場高砂文化学院	"	日本放送協会学園高校	"	"	普通科
110	"	"	和歌山	和歌山県立医科大学付属病院北分院付設看護婦学校	看護婦養成所	和歌山県立紀の川高校	一般通信制	看護	衛生看護科
111	"	"	"	国保橋本市民病院付属看護婦養成所	"	"	"	"	"
112	"	"	"	和歌山市医師会准看護婦養成所	"	和歌山県立陵雲高校	"	"	"
113	"	"	"	日東紡績 $\times$ 白百合高等学校	家庭系各種 学校	"	"	家庭	普通科
114	"	"	"	日東紡績 $\times$ 和歌山工場広陵高等学院	"	"	"	"	"
115	"	"	徳 島	日東紡績 $\times$ 徳島工場付属吉野高等学院	"	徳島県立城南高校	一般通信制	"	家政科
116	"	"	"	東洋紡績 $\times$ 小松島工場小松島高等女学院	"	"	"	"	"
117	"	"	香 川	富士紡績 $\times$ 豊浜工場富士紡績学園	"	"	"	"	"
118	"	"	愛 媛	富士紡績 $\times$ 三島工場富士紡三島学園	"	"	"	"	"
119	"	"	"	富士紡績 $\times$ 川之江工場富士紡川之江学園	"	"	"	"	"

120	43. 6. 6	43. 6.26	大 分	富士紡績KK中津工場富士 紡中津学園	家庭系各種 学校	鹿児島県立鹿児島西高 校	屋間定時制	農業	農業経営科
121	"	"	"	富士紡績KK大分工場富士 紡大分学園	"	"	"	看護	衛生看護科
122	"	"	鹿児島	鹿児島県 農村 センター	経営伝習所	"	"	"	"
123	"	"	"	社団法人鹿児島精神衛生 協会鹿児島看護婦学校	看護婦養 成所	"	"	"	"
124	"	"	"	財団法人慈愛会谷山准看 護婦学校	"	"	"	"	"
125	43. 6.18	"	長 野	東洋紡績KK豊科工場豊科 学院	家庭系各種 学校	"	"	"	"
126	"	"	愛 知	日清紡績KK美合工場付属 千歳学園	"	"	"	"	"
127	"	"	大 阪	関西テレビ技術専門学校	工業系各種 学校	科学技術学園高校	広域通信制	工業	電 気 科
128	"	"	三 重	鐘淵紡績KK鈴鹿工場鐘淵 紡績鈴鹿高等女学院	家庭系各種 学校	日本放送協会学園高校	"	家庭	普 通 科
129	"	"	"	倉敷紡績KK津工場洗心家 政専門学校	"	向 陽 台 高 校	"	"	家 政 科
130	"	"	"	松阪紡績KK松阪工場松紡 学園	"	"	"	"	被 服 科
131	"	"	"	オーミケンシKK津工場オ ーミケンシ津高等女学院	"	"	"	"	普 通 科
132	"	"	香 川	倉敷紡績KK観音寺工場静 修家政専門学校	"	"	"	"	"
133	"	"	福 岡	博多経 理 専 門 学 校	商業系各種 学校	"	"	"	"
134	"	"	"	鎮西女子専門学校	"	"	"	"	"
135	"	"	"	福岡女子商業専門学校	"	"	"	"	"

136	43. 6.18	43. 6.26	福岡	福岡高等商業学校	商業系各種 学校	九州商業学校	広域通信制	商業	商業科
137	"	"	"	明治經理専門学院	"	"	"	"	"
138	"	"	"	久留米中央經理専門学院	"	"	"	"	"
139	"	"	"	久留米会計専修学校	"	"	"	"	"
140	"	"	"	大川高等商業学校	"	"	"	"	"
141	"	"	"	西日本計理専門学校	"	"	"	"	"
142	"	"	"	嘉穂高等商業学校	"	"	"	"	"
143	"	"	"	糸島經理専門学校	"	"	"	"	"
144	"	"	"	久留米經理専門学校	"	"	"	"	"
145	"	"	佐賀	伊万里高等經理学校	"	"	"	"	"
146	"	"	"	唐津商科専門学校	"	"	"	"	"
147	"	"	熊本	天草高等商業学校	"	"	"	"	"
148	"	"	"	八代高等実業学校	"	"	"	"	"
149	"	"	"	三角高等商業学校	"	"	"	"	"
150	43. 7.11	43. 7.17	奈良	ユニチカKK高田工場高田 高等学院	家庭系各種 学校	向陽台高校	"	家庭	家政科
151	"	"	福岡	九州經理専門学校	商業系各種 学校				

152	43. 7.11	43. 7.17	岡 福	戸畑 経 理 専 門 学 院	商業系各種 学校	三重県立松阪高校	一般通信制	工業	普通科
153	43. 8. 8	43. 8.16	三 重	神鋼電機技能訓練所	高等職業訓 練校	三重県立四日市北高校	夜間定時制	家庭看護	普通科 衛生看護
154	"	"	"	四日市医師会付属看護 婦学校	准看護婦養成 所	"	"	"	"
155	"	"	"	四日市市立四日市病院付 属准看護婦養成所	"	"	"	"	"
156	"	"	"	医療法人富田浜病院付属 准看護学校	"	"	"	"	"
157	"	"	"	医療法人居仁会四日市日 永病院付属准看護学院	"	"	"	"	"
158	43.12. 4	43.12. 9	佐 賀	佐 賀 経 理 専 門 学 校	商業系各種 学校	九州商業高校	広域通信制	商業	商業科
159	"	"	"	引地学園服装専門学校	家庭系各種 学校	佐賀県立佐賀北高校	一般通信制	家庭看護	普通科
160	43.12.24	44. 1. 9	岡 静	島田高等経理学校	商業系各種 学校	九州商業高校	広域通信制	商業	商業科
161	44. 2.10	44. 2.19	石 川	社会福祉法人聖霊病院付 属准看護学院	准看護婦養成 所	石川県立金沢中央高校	夜間定時制	看護	衛生看護
162	"	"	"	石川県准看護学院	"	"	"	"	"
163	"	"	愛 知	三井毛織祖父江工場三 共学園	家庭系各種 学校	"	"	"	"
164	"	"	"	豊田紡織名古屋工場葵 高等家政学校	"	"	"	"	"
165	"	"	"	糸菊高等家政学校	"	向陽台高校	広域通信制	家庭看護	被服科
166	"	"	"	中部高等タイピスト学校	商業系各種 学校	九州商業高校	"	商業	商業科
167	"	"	"	愛知県医師会半田看護婦 学校	准看護婦養成 所	愛知県立桃陵高校	夜間定時制	看護	衛生看護

168	44. 2.10	44. 2.19	滋 賀	大 津 文 化 学 園	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校	広域通信制	家庭	被 服 科
169	"	"	三 重	上野市国民健康保険市立 病院付属看護婦学校	看護婦養 成所	三重県立上野高校	夜間定時制	看護	普通科
170	"	"	"	医療法人総合病院岡波病 院付属看護婦学院	"	"	"	"	"
171	"	"	"	伊勢市医師会准看護婦学 校	"	伊勢女子高校	昼間定時制	"	衛生看護
172	"	"	大 阪	日立マクセル日立マク セル男子技養学園	家庭系各種 学校				
173	"	"	"	日立マクセル日立マク セル男子技養学園	高等職業訓 練校	科学技術学園工業学校	広域通信制	工業	機械科
174	"	"	"	松下電工技能社員養成 所	"	"	"	"	"
175	"	"	岡 山	社団法人岡山市医師会岡 山看護学院	看護婦養 成所	岡山市立岡山商業学校 岡山女子高校	昼間定時制	看護	衛生看護
176	"	"	"	財団法人川崎病院川崎准 看護学院	"	岡山女子高校	"	"	"
177	"	"	"	岡山済生会総合病院付属 看護学院	"	岡山市立岡山商業高校	"	"	"
178	"	"	広 島	広島県立呉専修職業訓練 校	専修職業訓 練校	広島県立呉工業高校	夜間定時制	工業	機械科
179	"	"	"	広島県立福山専修職業訓 練校	"	広島県立福山工業高校	"	"	"
180	"	"	大 分	大分市立大分高等職業学 校	家庭系各種 学校	大分県立碩信高校	一般通信制	家庭	家政科
191	"	"	長 崎	松 島 高 等 勉 業 学 校	工業系各種 学校	長崎県立大崎高校	昼間定時制	工業	機械科
182	"	"	岐 阜	岐阜県立多治見准看護学 校	看護婦養 成所	岐阜県立多治見北高校	夜間定時制	看護	衛生看護
183	"	"	"	岐阜県医師会准看護婦学 校	"	岐阜県立華陽高校	"	"	"

184	44. 2.10	44. 2.19	岐 卓	多治見市医師会付属看護婦学校	准看護婦養成所	岐阜県立多治見北高校	夜間定時制	看護	衛生看護科
185	44. 3.17	44. 3.28	岩 手	財団法人岩手済生会岩手准看護婦学校	"	岩手県立杜陵高校	一般通信制	"	"
186	"	"	"	財団法人岩手花巻病院付属看護婦学校	"	岩手県立花巻南高校	夜間定時制	"	"
187	"	"	"	恩賜財団法人岩手県済生会黒沢尻総合病院付属看護婦学院	"	岩手県立杜陵高校	一般通信制	"	"
188	"	"	"	医療法人遠山病院付属看護婦学院	"	"	"	"	"
189	"	"	"	社団法人盛岡准看護学院	"	"	"	"	"
190	"	"	"	久慈市立准看護学院	"	"	"	"	"
191	"	"	"	遠野市立准看護学院	"	"	"	"	"
192	"	"	"	岩手県立大船渡准看護学院	"	"	"	"	"
193	"	"	山 形	米沢技芸専門学院	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校	広域通信制	家庭	被服科
194	"	"	富 山	富山県立福野高等技能学校	専修職業訓練校	富山県立福光高校	星・夜間定時制	工業	機械科
195	"	"	"	井波高等女学院	家庭系各種 学校	富山県立雄峰高校	一般通信制	家庭	家政科
196	"	"	"	能 森 文 化 服 装 学 院	"	"	"	"	"
197	"	"	"	富山県立医師会付属魚津准看護婦学院	准看護婦養成所	"	"	"	"
198	"	"	愛 知	日清紡績㈱戸崎工場付属清和高等学校園	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校	広域通信制	"	"
199	"	"	"	石川紡績㈱石川女子高等学校園	"	"	"	"	"

200	44. 3.17	44. 3.28	愛知	愛知県立愛知看護婦学院	看護婦養成所	科学技術学園工業高校	広域通信制	工業	機械科
201	"	"	兵庫	新明和工業技能者養成所	高等職業訓練所	和歌山県立陵雲高校	一般通信制	看護	衛生看護科
202	"	"	和歌山	日高看護婦養成所	看護婦養成所	九州商業学校	広域通信制	商業	商業科
203	"	"	愛媛	今治商業高等専修学校	商業系各種学校	高知市立高知商業学校	夜間定時制	"	"
204	"	"	高知	土佐簿記学校	"	鹿児島県立鹿児島西高校	一般通信制	看護	衛生看護科
205	"	"	鹿児島	鹿屋市立准看護婦学校	看護婦養成所	栃木県立宇都宮高校	"	家庭	普通科
206	"	"	"	志布志町立志布志准看護婦学校	"	向陽台高校	広域通信制	"	被服科
207	"	"	栃木	足利女子高等専修学校	家庭系各種学校	岩手県立杜陵高校	一般通信制	農業家庭	農業生活科
208	"	"	滋賀	水口女子専門学校	"	"	"	"	"
209	44. 3.29	44. 4. 8	岩手	岩手県立六原農場	経営伝習農場	"	"	農業	農業科
210	"	"	"	岩手県立浄法寺農場	"	"	"	農業	農業科
211	"	"	"	岩手県立農業試験場	公立試験場	福島県立郡山工業高校	夜間定時制	工業	機械科
212	"	"	福島	東北鉄道学園郡山工場分所	国鉄鉄道学園	新潟県立長岡西高校	"	家庭	普通科
213	"	"	新潟	長岡ドレスメーカー女学院	家庭系各種学校	富山県立雄峰高校	一般通信制	"	家政科
214	"	"	富山	富山文化服装学院	"	"	"	"	"
215	"	"	"	日清紡績富山工場清瀬高等学園	"	"	"	"	"

216	44. 3.29	44. 4. 8	富山	富山県医師会付属富山看護学院	准看護婦養成所	富山県立雄峰高校	昼間定時制	看護	衛生看護
217	"	"	京都	ユニチカ京都青雲学院	家庭系各種学校				
218	"	"	高知	宝永経理専門学校	商業系各種学校	高知市立高知商業高校	夜間定時制	商業	商業科
219	"	"	福岡	北九州中央准看護学院	准看護婦養成所	折尾女子商業高校	一般通信制	看護	衛生看護
220	"	"	"	社団法人遠賀中間医師会准看護学院	"	"	"	"	"
221	"	"	"	社団法人戸畑区医師会准看護学院	"	"	"	"	"
222	"	"	"	社団法人門司区医師会付属准看護学院	"	"	"	"	"
223	"	"	"	社団法人北九州市八幡区医師会准看護学院	"	"	"	"	"
224	"	"	"	福岡市医師会看護学校	"	"	"	"	"
225	"	"	"	社団法人筑紫郡医師会付属准看護学院	"	"	"	"	"
226	"	"	神奈川	日産自動車工手学校	工業各種学校	科学技術学園工業高校	広域通信制	工業	機械科
227	"	"	福岡	大牟田高等商業学校	商業系各種学校	九州商業高校	"	商業	商業科
228	"	"	秋田	秋田県秋田専修職業訓練校	専修職業訓練校				
229	"	"	"	秋田県能代専修職業訓練校	"				
230	44. 4.10	44. 4.16	長野	長野県上松専修職業訓練校	"	長野県立木曾東高校	夜間定時制	工業	普通科
231	"	"	茨城	日本鉦業鉦資源開発学院日立交	工業系各種学校	茨城県立日立第一高校 本山分校	"	"	"

232	44. 4.10	44. 4.16	愛知	豊和工業KK技能者訓練所	高等職業訓練校	科学技術学園工業高校	広域通信制	工業	機械科
233	"	"	大阪	久保田鉄工KK技能訓練所	"	"	"	"	"
234	"	"	兵庫	大阪鉄道管理局関西鉄道学園攝取分所	国鉄鉄道学園	兵庫県立青雲高校 神戸市立大和田工業高校	一般通信制 夜間定時制	"	普通電気科
235	"	"	福岡	行橋市京都郡准看護学院	准看護婦養成所	折尾女子商業高校	一般通信制	看護	衛生看護科
236	44. 5.26	44. 5.30	神奈川	鈴木洋裁学院	家庭系各種学校	神奈川県立厚木南高校	"	家庭	普通科
237	"	"	"	国立箱根療養所付属准看護学院	准看護婦養成所	神奈川県立小田原城内高校	夜間定時制	"	"
238	"	"	"	国立神奈川療養所付属准看護学院	"	神奈川県立厚木南高校	一般通信制	看護	衛生看護科
239	"	"	"	プレス工業学校	高等職業訓練校	"	"	工業	普通科
240	"	"	鹿児島	鹿児島高等経理学校	商業系各種学校	九州商業高校	広域通信制	"	商業科
241	"	"	宮城	仙台市医師会付属准看護学院	准看護婦養成所	仙台市立女子高校	夜間定時制	看護	衛生看護科
242	"	"	山形	国立療養所左沢光風園付属准看護学院	"	山形県立山形東高校	一般通信制	"	"
243	"	"	"	山形市医師会准看護学院	"	"	夜間定時制 一般通信制	"	"
244	"	"	"	三友堂病院付属准看護学院	"	"	一般通信制	"	"
245	"	"	"	山形厚生専門学校	"	"	夜間定時制 一般通信制	"	"
246	"	"	"	篠田総合病院准看護学院	"	"	"	"	"
247	"	"	群馬	富岡准看護婦学校	"	群馬県立前橋第二高橋	一般通信制	"	"

248	45. 2. 9	45. 2. 19	群馬	桐生准看護婦学校	准看護婦養成所	群馬県立前橋第二高校	一般通信制	看護	衛生看護
249	"	"	"	藤岡准看護婦学校	"	"	"	"	"
250	"	"	"	前橋准看護婦学校	"	"	"	"	"
251	"	"	"	吾妻准看護婦学校	"	"	"	"	"
252	"	"	"	伊勢崎准看護婦学校	"	"	"	"	"
253	"	"	神奈川	神奈川県衛生学院	"	太谷学園清心女子高校	"	"	"
254	"	"	富山	上市厚生病院付属看護学院	"	富山県立雄峰高校	昼間定時制	"	"
255	"	"	岐阜	岐阜市市民病院付属看護学院	"	岐阜県立華陽高校	夜間定時制	"	"
256	"	"	静岡	静岡市医師会付属看護婦学院	"	静岡県立静岡高校	"	"	"
257	"	"	愛知	瀬戸准看護婦学校	"	愛知県立瀬戸綴業高校	"	"	"
258	"	"	"	公立陶生病院付属看護学院	"	"	"	"	"
259	"	"	島根	松江准看護婦学校	"	島根県立松江北高校	一般通信制	"	"
260	"	"	山口	山口県准看護婦学校	"	山口県立山口高校	"	"	"
261	"	"	"	防府医師会付属看護学院	"	"	"	"	"
262	"	"	"	吉南医師会准看護婦養成所	"	"	"	"	"
263	"	"	"	岩国市医師会准看護学院	"	"	"	"	"

264	45. 2. 9	45. 2.20	山 口	柳 井 准 看 護 学 院 萩市医師会付属看護婦 養成所	准看護婦養成 所	山 口 県 立 山 口 高 校	一般通信制	看 護	衛 生 看 護
265	"	"	"	厚 狭 准 看 護 学 院	"	"	"	"	"
266	"	"	"	宇 和 島 准 看 護 婦 学 校	"	愛媛県立宇和島南高校	夜間定時制	"	"
267	"	"	愛 媛	入幡浜総合病院付属看護 婦養成所	"	愛媛県立入幡浜高校	"	"	"
268	"	"	"	入幡浜医師会付属看護婦 学校	"	"	"	"	"
269	"	"	"	築上医師会准看護婦学院	"	大分県立中津商業高校	"	"	"
270	"	"	福 岡	熊 本 准 看 護 学 院	"	熊本県立熊本高校	"	"	"
271	"	"	熊 本	水俣市芦北郡医師会立准 看護婦学院	"	熊本県立水俣高校	"	"	"
272	"	"	"	大分准看護婦養成所	"	大分県立大分中央高校	"	"	"
273	"	"	大 分	佐 伯 准 看 護 婦 養 成 所	"	大分県立碩信高校	一般通信制	"	"
274	"	45. 2.21	"	南海病院付属看護婦学院	"	"	"	"	"
275	"	"	"	中津市医師会准看護婦学院	"	大分県立中津商業高校	夜間定時制	"	"
276	"	"	"	東 北 電 力 学 園	高等職業訓練 校	科学技術学園工業高校	広域通信制	工 業	電 気 科
277	"	"	官 城	日本ビクター技術学院	"	神奈川県立厚木南高校	一般通信制	"	普 通 科
278	"	"	神奈川	東京芝浦電気双玉川工場 高等職業訓練校	"	科学技術学園工業高校	広域通信制	"	機 械 科
279	"	"	"						

280	45. 2. 9	45. 2. 21	神奈川	東京芝浦電気小向工場 高等訓練校	高等職業訓練校	科学技術学園工業高校	広域通信制	工業	機械科
281	"	"	富山	富山総合高等職業訓練校	総合高等職業訓練校	富山県立志貫野高校	夜間通信制	"	"
282	"	"	"	富山県立新湊高等技術学校	専修職業訓練校	"	"	"	"
283	"	"	"	富山県立礪波高等技術学校	"	"	"	"	"
284	"	"	"	富山県立氷見高等技術学校	"	"	"	"	"
285	"	"	"	富山県立八尾高等技術学校	"	富山県立富山工業高校	"	"	生産機械科
286	"	"	"	富山県立立山高等技術学校	"	"	"	"	"
287	"	"	"	富山県立黒部高等技術学校	"	富山県立桜井高校	"	"	機械科
288	"	"	島根	日立金属KK安来工場技能者養成所	高等職業訓練校	島根県立松江北高校	一般通信制	"	普通科
289	"	"	青森	中央文化服装学院	家庭系各種学校	日本放送協会学園高校	広域通信制	家庭	"
290	"	"	"	八戸文化服装学院	"	"	"	"	"
291	"	"	愛知	菊武タイピスト女学院	商業系各種学校	守山女子商業高校	一般通信制	商業	商業科
292	"	"	滋賀	彦根技芸専門学校	家庭系各種学校	向陽台高校	広域通信制	家庭	被服科
293	"	"	"	淡海高等家政学校	"	"	"	"	"
294	"	"	京都	京都高等工芸学校	"	"	"	"	普通科
295	"	"	高知	敷島高等女学院	"	高知県立高知小津高校	一般通信制	"	"

296	45. 4	45. 2. 9	45. 2. 21	福 島	福島県双葉経営伝習農場	経営 伝 習 農場	福島県立福島中央高校	一般通信制	農業	普 通 科
297	"	"	"	"	福島県矢吹原経営伝習農場	"	"	"	"	"
298	"	"	"	静 岡	中部鉄道学園浜松工場分所	国鉄鉄道学 園	科学技術学園工業高校	広域通信制	工業	機 械 科 電 気 科
299	45. 4	45. 3. 16	45. 3. 26	岩 手	宮 古 准 看 護 学 院	准看護婦養成所	岩手県立杜陵高校	一般通信制	看護	衛生看護科
300	"	"	"	"	水沢高等女学苑付属准看護婦学校	"	"	"	"	"
301	"	"	"	群 馬	高 崎 准 看 護 婦 学 校	"	群馬県立前橋第二高校	"	"	"
302	"	"	"	神 奈 川	平塚共済病院付属准看護学院	"	神奈川県立厚木南高校	"	"	"
303	"	"	"	"	小 田 原 准 看 護 学 院	"	"	"	"	"
304	"	"	"	"	積 善 会 准 看 護 学 院	"	"	"	"	"
305	"	"	"	"	育生会技術専門学校	"	"	"	"	"
306	"	"	"	"	京 浜 学 園	"	大谷学園清心女子高校	"	"	"
307	"	"	"	三 重	三重県立厚生連准看護学校	"	三重県立神戸高校	夜間定時制	家庭	普 通 科
308	"	"	"	徳 島	徳島県准看護学院	"	徳島県立城南高校	一般通信制	看護	衛生看護科
309	"	"	"	"	徳島県医師会准看護学院	"	"	"	"	"
310	"	"	"	鹿 児 島	額 娃 准 看 護 婦 学 校	"	鹿児島県立鹿児島西高校	"	"	"
311	"	"	"	北 海 道	王子工管区技能訓練所	高等職業訓練所	北海道立有朋高校	"	工業	機 械 科

312	45. 3.16	45. 3.26	東京	オリゾン工業専修学校	高等職業訓練所	東海大学付属望星高校	一般通信制	工業	普通科
313	"	"	大阪	富士車輛訓練所	"	科学技術学園工業高校	広域通信制	"	機械科
314	"	"	北海道	旭日本製鋼所高等工業学校	工業系各種学校	北海道立有朋高校	一般通信制	"	"
315	"	"	"	新日本製鐵室蘭高等工業学校	工業系	"	"	"	電氣科
316	"	"	"	日本鉱業協会資源開発学院札幌校	"	"	"	"	探鉱科
317	"	"	"	旭川タイピスト専修学園	商業系各種学校	"	"	商業	商業科
318	"	"	"	苫小牧タイピスト専修学園	"	"	"	"	"
319	"	"	"	北見商科専門学校	"	"	"	"	"
320	"	"	"	釧路商科専修学校	"	"	"	"	"
321	"	"	"	室蘭文化学院	家庭系各種学校	"	"	家庭	被服科
322	"	"	"	美深高等酪農学校	農業系各種学校	"	"	農業	農業科
323	"	"	兵庫	阪急商業学園	商業系各種学校	兵庫県立青雲高校	"	商業	普通科
324	"	"	"	姫路高等女学院	家庭系各種学校	"	"	家庭	"
325	"	"	北海道	北海道鉄道学園	国鉄鉄道学園	北海道立有朋高校	"	工業	機械科 電氣科
326	"	"	埼玉	関東鉄道学園	"	科学技術学園工業高校	広域通信制	"	機械科 電氣科
327	"	"	東京	関東鉄道学園大井分所	"	"	"	"	"

328	45. 3.31	45. 4. 6	福 岡	糸 島 家 政 専 攻 学 校	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校	広域通信制	家庭	家 政 科
329	"	"	"	田 川 女 子 専 門 学 校	"	"	"	"	被 服 科
330	45. 5.28	45. 6. 3	岡 山	倉 敷 准 看 護 学 院	准看護婦養成所	片 山 女 子 高 校	昼間定時制	看護	衛生看護
331	45. 6.26	45. 7. 2	兵 庫	神戸市医師会准看護婦学校	"	兵庫県立青雲学校	一般通信制	家庭	普 通 科
332	46. 2. 1	46. 2. 1	東 京	職業訓練大学校附属総合 高等職業訓練校	総合高等職業 訓練校				
333	"	"	"	K工進精工所高等職業訓練 所	高等職業訓練 校				
334	"	"	神奈川	東京芝浦電気K柳町工場 高等職業訓練校	"				
335	"	"	"	日本冶金工業K川崎製造 所職業訓練所	"				
336	"	"	"	厚木自動車部品高等職業 訓練校	"				
337	"	"	"	東京芝浦電気Kタービン 工場高等職業訓練校	"				
338	"	"	富 山	富山県立入善高等技術学 校	専修職業訓練 校				
339	"	"	石 川	石川総合高等職業訓練校	総合高等職業 訓練校				
340	"	"	"	石川県立金沢専修職業訓練 校	専修職業訓練 校				
341	"	"	"	石川県立能登専修職業訓練 校	"				
342	"	"	"	石川県立七尾専修職業訓練 校	"				
343	"	"	愛 知	東 亜 合 成 高 等 学 園	高等職業訓練 校				

344	46. 2. 1	46. 2. 6	愛知	日本電装工業高等学園	高等職業訓練校	県立上野高校
345	"	"	三重	安永鉄工所高等職業訓練校	"	
346	"	"	宮城	気仙沼市医師会附属看護学校	准看護婦養成所	
347	"	"	群馬	渋川准看護学校	"	
348	"	46. 2. 8	富山	高岡准看護学院	"	
349	"	"	愛知	愛北准看護婦学院	"	県立古知野高校
350	"	"	"	尾北准看護婦学校	"	
351	"	"	"	岡崎准看護婦学校	"	
352	"	"	"	岡崎市立岡崎病院附属准看護婦学校	"	
353	"	"	"	豊川市民病院附属准看護婦病院	"	
354	"	"	愛媛	今治准看護婦学校	"	
355	"	"	鹿児島	仁心准看護学院	"	県立鹿児島高校
356	"	"	山形	山形女子専門学校	家庭系各種学校	
357	"	"	"	寒河江女子専門学校	"	県立山形東高校
358	"	"	"	鶴岡家庭学院	"	県立鶴岡南高校
359	"	"	愛知	享栄商業タイピスト学校	商業系各種学校	

360	滋賀	八日市女子学園	科学技術学園工業高校	
361	鹿児島	阿久根高等商工学校		
362	大阪	大阪瓦斯KX人事部教習所	高等職業訓練校	
363	富山	魚津総合高等職業訓練校	総合高等職業訓練校	
364	山梨	KX日立製作所甲府工場日立甲府女子学園		
365	"	吉田准看護婦学校	准看護婦養成所	
366	"	甲府准看護婦学校	"	
367	徳島	徳島県三好郡医師会准看護学院	"	
368	福岡	九州鉄道学園分所	国鉄鉄道学園	
369	島根	能義准看護婦養成所	准看護婦養成所	県立松江北高校
370	"	雲南共存病院附属准看護学院	"	"
371	三重	日立金属KX桑名工場技能者養成所	高等職業訓練校	
372	茨城	双葉家政学院	家庭系各種学校	県立水戸南高校
373	北海道	室蘭家政学院	"	北海道立有朋高校
374	"	加藤装装学園	"	"
375	山形	山形高等洋裁技芸専門学校	"	県立山形東高校

376	47. 1.18	47. 1.25	山 形	新 庄 服 装 専 門 高 校	家庭系各種 学校	県 立 山 形 東 高 校		
377	"	"	"	パリス文化服装学院	"	"		
378	"	"	石 川	石川県立小松専修職業訓練校	専修職業訓練校			
379	"	"	大 阪	近畿電気工事高等技能訓練校	高等職業訓練校			
380	"	"	広 島	広島市医師会准看護学院	准看護婦養成所			
381	"	"	熊 本	常盤家政専門学校	家庭系各種 学校	向 陽 台 高 校	家庭 通信制	家庭
382	"	"	"	山 鹿 高 等 商 業 学 校	"	九 州 商 業 高 校	"	商業
383	47. 2. 4	47. 2.15	福 井	福 井 准 看 護 学 院	准看護婦養成所			
384	"	"	"	武 生 准 看 護 学 院				
385	"	"	"	今 立 准 看 護 学 院				
386	47. 2.25	47. 3. 3	高 知	高知県医師会准看護婦養成所				
387	"	"	"	土 佐 准 看 護 学 院	経営伝習農場			
388	"	"	"	高 知 県 立 婦 全 農 場	家庭系各種 学校			
389	47. 3.25	47. 4. 3	福 岡	日 田 香 蘭 文 化 女 学 院	"	九 州 商 業 学 校		
390	47. 5.23	47. 5.29	兵 庫	豊岡経理専門学校	"			

技能教育施設の年度別指定状況

表 IV - 2

昭和47年5月29日現在

指 定 年 度	指 定 数	現 在 数	廃 止 数
昭和37年度	2	2	
38	16	9	7
39	16	11	5
40	11	6	5
41	8	5	3
42	6	5	1
43	170	151	19
44	100	98	2
45	39	39	
46	21	21	
47	1	1	
合 計	390	348	42

技能教育施設の種類別地域分布

表 IV - 3

昭和47年5月29日現在

都道府県 名 称	技 能 教 育 施 設 の 種 類						計
	職業訓練校	各種学校	准 看 婦 婦養成所	国 鉄 鉄 道 学 園	経 営 伝 習 農 場	公 立 研 究 所 試 験 所	
北 海 道	1	11 (4)		1			13
青 森		2					2
岩 手			10		2	1	13
宮 城	1		2				3
秋 田	2						2
山 形		7	5				12
福 島	3 (3)	1		1	2		7
茨 城	5 (5)	2					7
栃 木	2 (2)	1					3
群 馬			8				8
埼 玉	4 (4)			1			5

千 葉	3 (3)						3
東 京	8 (5)	2		1			11
神 奈 川	22 (15)	1	8				31
新 潟		1					1
富 山	12 (1)	5	4				21
石 川	5		2				7
福 井			3				3
山 梨		1	2				3
長 野	1	3					4
岐 阜		3	4				7
静 岡		9	1	1			11
愛 知	4 (1)	22	12				38
三 重	3	6	8				17
滋 賀		8					8
京 都		3					3
大 阪	19 (12)	6					25
兵 庫	3 (1)	6	1				10
奈 良		1					1
和 歌 山	1 (1)	5	4				10
鳥 取	1	3					0
島 根							4
岡 山	2 (1)		4				6
広 島	2		1				3
山 口			7				7
徳 島		2	3				5
香 川	3	2				1(1)	6
愛 媛		3	3				6
高 知		3	2		1		6
福 岡		18	9	1			28
佐 賀		4					4
長 崎		1					1
熊 本		5	2				7
大 分		3	4				7
宮 崎							0
鹿 児 島		2	6	1	1		10
沖 縄							0
計	108	149	118	7	6	2	390

(注) ()内は、昭和42年度以前に指定をうけたものである。

代表5県における技能教育施設の種別指定状況

表Ⅳ－４

昭和47年5月29日現在

都道府県名	職業訓練所	各種学校		准看	その他	合計
	事業内 総訓 県訓	種別	事業内 公共 私立			
神 奈 川	22 1 (15)			8		31
富 山	1 2 9 (1)	家庭	2 3	4		21
愛 知	4 (1)	家庭 商業	19 3	12		38
大 阪	18 1 (12)	家庭 工業	5 1			25
福 岡		商業 家庭	15 3	9	1	28

(注)
() 内は昭和42年度以前に指定を受けた技能教育施設数である。

ことが指摘できよう。その第三は、代表県にみられる種別指定状況の特色についてである。その状況は表Ⅳ－４のとおりである。愛知県の38か所中22か所は各種学校であり12か所は准看護婦養成所である。これに反して、職業訓練所は、改正以前の1校を含めて4か所にすぎない。すなわち、愛知県の場合は、「指定の基準」改正により1か所から一躍トップにおどり出たわけである。これと同様のことが、福岡県についても言うことができる。「指定の基準」改正以前は指定技能教育施設が存在しなかったものが、各種学校が18か所、准看護婦養成所が9か所、国鉄の鉄道学園が1か所指定をうけた。このことから、改正以前に指定技能教育施設が少数であって、「指定の基準」改正後に指定を増大させた地域においては、職業訓練所の指定は少なく、各種学校、准看護婦養成所の新たな指定によって増大していることが明らかになる。これ等に対して、神奈川県は、職業訓練校が「指定の基準」改正以前に指定を受けた15か所と合わせて22か所となっている。その他は、准看護婦養成所が8か所、各種学校が1か所指定を受けている。これと同様のことは、大阪府についても言うことができる。25か所中19か所は職業訓練所であり、さらにその内12か所は「指定の基準」改正以前に指定を受けたものである。このことから、「指定の基準」改正以前から認定事業内職業訓練所の指定をうけていた地域においては、やはり認定事業内職業訓練所についての伸びがあることがわかる。富山県は21か所中12か所は職業訓練校であり、しかもそのうち11か所までが「指定の基準」改正後に指定を受けたもので

ある。この職業訓練校の内容は、9 か所が県立職業訓練校であり、2 か所は総合高等職業訓練校である。このことから、神奈川県・大阪府に見られたような認定事業内職業訓練所の指定とは違い、県の公共職業訓練振興に対する積極的な意図をうかがうことができる。以上のことから、全般的に、基幹産業部門の技能者養成を行なおうとする認定事業内職業訓練所の増加は鈍化あるいは横ばい状態にあることが指摘できよう。また、技能連携「指定の基準」改正による指定技能教育施設の増加の内容は、家庭、商業等の各種学校、准看護婦養成所がその主要な部分であったとすることができる。ここでひとつ留意しておかなければならない点は、学校形態をとっている公共の職業訓練校が連携対象として現われてきたことである。その第四は、技能連携教育施設拡大の具体的な内容である。技能連携「指定の基準」改正後の種類別指定状況は表Ⅳ－5の通りである。（表Ⅳ－1も参照）認定事業内職業訓練所の28 か所は、すべて単独の技能教育施設である。

表Ⅳ－5 技能教育施設の種類別指定状況

昭和47年5月29日現在

技能教育施設の種類			施設数					
職業訓練校	認定訓練		82 (54)					
	公共	総訓	6					
		県訓	20					
各種学校			工業	家庭	商業	農業	小計	合計
	事業内		9 (4)	65			74	149
	公共			1			1	
	その他		2	34	37	1	74	
	小計		11	100	37	1		149
准看護婦養成所			118					
国鉄の鉄道学園			7					
経営伝習農場			6					
公立の研究所・試験場			2 (1)					
合計			390					

(注) ()内は、昭和42年度以前に指定を受けた技能教育施設

また、事業内各種学校を見ると、工業系の場合は、日本製鋼、新日本製鉄・日本鋁業の技能教育施設で、また、家庭系の場合の企業別指定状況は表Ⅳ－6の通りである。⁽³⁾

(3) 本論文次ページ参照。

その第五は、連携高等学校についてである。その一覧と課種別連携状況は、それぞれ表Ⅳ-7、表Ⅳ-8のとおりである。⁽⁴⁾単独の広域通信制高等学校である科学技術学園工業高校、日本放送協会学園高校、向陽台高校、九州商業高校が、新たに連携を開始あるいは新設され、それぞれが多数の技能教育施設と連携を行なうことになった。このことから、連携高等学校の課程は広域通信制高等学校がその主体であったことが指摘できる。その第六は、指定解除についてである。その

表Ⅳ-6 家庭系事業内各種学校の企業別指定状況

昭和47年5月29日現在

家庭系各種学校設置者	施設数	家庭系各種学校設置者	施設数
1. 日 東 紡 績 KK	5	11. 小 泉 製 麻 KK	2
2. 鐘 淵 紡 績 KK	14	12. 帝 国 産 業 KK	1
3. ユ ニ チ カ KK	5	13. 東 洋 紡 績 KK	3
4. オ ー ミ ケ ン シ KK	5	14. 倉 敷 紡 績 KK	2
5. 日 清 紡 績 KK	8	15. 松 阪 紡 績 KK	1
6. 富 士 紡 績 KK	8	16. 三 共 毛 織 KK	1
7. 帝 人 KK	1	17. 日 立 マ ク セ ル KK	1
8. グ ン ゼ KK	1	18. 石 川 紡 績 KK	1
9. 帝 国 紡 績 KK	1	19. KK 日 立 製 作 所	1
10. 豊 田 紡 織 KK	4		
		合 計	65

表Ⅳ-7 連携高等学校の課程別校数およびそれと連携する施設数

連携高校及び 連携の課程		連携高等学校数		指定施設の種別連携数			
		公 立	私 立	各種学校	准看護婦	職業訓練	その他
定 時 制	昼間定時制	2	3	1	10		1
	夜間定時制	39		5	30	28(19)	2(1)
	昼間定時制 夜間定時制	1				1	
通 信 制	一般通信制	16	4	28(4)	53	8(1)	6
	広域通信制		4	67		44(34)	3
定通併置	昼間定時制	2					
	一般通信制						
	夜間定時制 一般通信制	1			3		1
小 計		61	11	101	96	81	13
合 計			72				291

(注)()内は、昭和42年度以前に指定を受けたものである。

(4) 表Ⅳ-7、表Ⅳ-8は全国高等学校主事協会資料「全国定時制、通信制高等学校における技能連携教育の実施状況」(昭和45年7月)より、作成した。昭和45年7月から現在までの連携高等学校は一部を除いては不明なものが多いため、ここでは省略した。

表Ⅳ-8 連携高等学校一覧 昭和45年7月現在

No.	連携高等学校			連携施設数				
	所在	連携高等学校名	連携課程	各種 学校	准看 護婦	職 訓	そ の 他	合 計
1	北海道	北海道立有朋高校	一般通信制	13		1	1	15
2	岩手	岩手県立杜陵高校	"		9		3	12
3	"	岩手県立花巻南高校	夜間定時制		1			1
4	宮城	仙台市立女子高校	"		1			1
5	山形	山形県立山形東高校	夜・一通併修 定		5			5
6	福島	福島県立福島工業高校	夜間定時制			1		1
7	"	福島県立平工業高校	"			2		2
8	"	福島県立郡山工業高校	"				1	1
9	"	福島県立福島中央高校	一般通信制				2	2
10	茨城	茨城県立日立第一高校 本 山分校	夜間定時制	1				1
11	栃木	栃木県立宇都宮高校	一般通信制	1				1
12	群馬	群馬県立前橋第二高校	"		7			7
13	埼玉	埼玉県立川口工業高校	夜間定時制			1		1
14	東京	(私立)科学技術学園工業高校	広域通信制	2		44	3	49
15	"	(私立)日本放送協会学園高校	"	13				13
16	"	(私立)東海大学付属望星高校	一般通信制			1		1
17	神奈川	神奈川県立商工高校	夜間定時制			1		1
18	"	神奈川県立厚木南高校	一般通信制	1	5	2		8
19	"	神奈川県立小田原城内高校	夜間定時制		1			1
20	"	(私立)大谷学園清心女子高校	一般通信制		2			2
21	新潟	新潟県立長岡西高校	夜間定時制	1				1
22	富山	富山県立富山工業高校	"			3		3
23	"	富山県立福光高校	昼間定時制			1		1
24	"	富山県立雄峰高校	夜・一通併修 定	4	3			7
25	"	富山県立志貴野高校	夜間定時制			4		4
26	"	富山県立桜井高校	"			1		1
27	石川	石川県立金沢中央高校	"		2			2
28	長野	長野県立木曾東高校	"			1		1
29	岐阜	岐阜県立多治見高校	"		2			2
30	"	岐阜県立華陽高校	"		2			2
31	静岡	静岡県立静岡高校	"		1			1
32	愛知	愛知県立桃陵高校	"		3			3
22	"	愛知県立瀬戸窯業高校	"		2			2
34	"	(私立)守山女子商業高校	一般通信制	1				1
35	三重	三重県立四日市北高校	夜間定時制		4			4

36	三 重	三 重 県 立 松 阪 高 校	一般通信制			1		1
37	"	三 重 県 立 上 野 高 校	夜間定時制		2			2
38	"	(私立)伊 勢 女 子 高 校	昼間定時制		1			1
39	"	三 重 県 立 神 戸 高 校	夜間定時制		1			1
40	大 阪	大 阪 府 立 成 城 工 業 高 校	"			6		6
41	"	(私立)向 陽 台 高 校	広域通信制	32				32
42	兵 庫	神 戸 市 立 産 業 高 校	夜間定時制			1		1
43	"	兵 庫 県 立 赤 穂 高 校	"	1				1
44	"	兵 庫 県 立 青 雲 高 校	一般通信制	2	1	1	1	4
45	"	神 戸 市 立 大 和 田 工 業 高 校	夜間定時制				1	1
46	和歌山	和 歌 山 県 立 陵 雲 高 校	一般通信制	1	2	1		4
47	"	和 歌 山 県 立 紀 の 川 高 校	"		2			2
48	島 根	島 根 県 立 松 江 北 高 校	"		1	1		2
49	岡 山	倉 敷 市 立 工 業 高 校	夜間定時制			2		2
50	"	岡 山 市 立 岡 山 商 業 高 校	昼間定時制		1			1
51	"	(私立)岡 山 女 子 高 校	"		1			1
52	"	(私立)片 山 女 子 高 校	"		1			1
53	広 島	広 島 県 立 呉 工 業 高 校	夜間定時制			1		1
54	"	広 島 県 立 福 山 工 業 高 校	"			1		1
55	山 口	山 口 県 立 山 口 高 校	一般通信制		7			7
56	徳 島	徳 島 県 立 城 南 高 校	"	2	2			4
57	香 川	香 川 県 立 高 松 工 芸 高 校	夜間定時制			2	1	3
58	"	香 川 県 立 多 度 津 工 業 高 校	"			1		1
59	愛 媛	愛 媛 県 立 宇 和 島 南 高 校	"		1			1
60	"	愛 媛 県 立 八 幡 浜 高 校	"		2			2
61	高 知	高 知 県 立 高 知 商 業 高 校		2				2
62	"	高 知 県 立 高 知 小 津 高 校	一般通信制	1				1
63	福 岡	(私立)九 州 商 業 高 校	広域通信制	20				20
64	"	(私立)折 尾 女 子 商 業 高 校	一般通信制		8			8
65	佐 賀	佐 賀 県 立 佐 賀 北 高 校	"	1				1
66	長 崎	長 崎 県 立 大 崎 高 校	昼間定時制	1				1
67	熊 本	熊 本 県 立 熊 本 高 校	夜間定時制		1			1
68	"	熊 本 県 立 水 俣 高 校	"		1			1
69	大 分	大 分 県 立 碩 信 高 校	一般通信制	1	2			3
70	"	大 分 県 立 大 分 中 央 高 校	夜間定時制		1			1
71	"	大 分 県 立 中 津 商 業 高 校	"		2			2
72	鹿 児 島	鹿 児 島 県 立 鹿 児 島 西 高 校	昼定一通制		5		1	6
	合 計	公立 61 } 72 校 (定通併置3) 私立 11 } (昼夜定時制1)		101	96	81	13	291

表 IV - 9 技能連携の指定を解除した技能教育施設一覧

昭和47年6月27日現在

廃止日	告示日	所 在	指定技能教育施設の名称	施設の種類	指定日
44. 3.31	44. 6.18	富 山	呉羽自動車共同職業訓練所	高等職業訓練所	40. 5.24
45. 7.31	45. 9.22	和歌山	日東紡織 KK 白百合高等学校	家庭系各種学校	43. 6. 6
45. 9.30	45.10.19	愛 知	豊田紡織 KK 名古屋工場葵高等家政学校	"	44. 2.10
"	"	"	豊田紡織 KK 北第一工場南城高等学園	"	43. 6. 6
46. 3.31	46. 4.26	大 阪	KK 神内電機製作所事業内訓練所	高等職業訓練校	38. 4. 4
"	"	"	大阪銅合金鋳物工業協同組合共同職業訓練所	"	"
"	"	"	日光精器 KK 職業訓練所	"	"
"	"	北海道	住友奔別高等鉱業学校	工業系各種学校	43. 1.16
"	"	茨 城	常磐炭礦中堅礦員習技所	高等職業訓練校	40. 7. 3
46. 4.30	46. 5.18	埼 玉	日本車輛製造 KK 蕨工場高等職業訓練所	"	40. 4.26
46.10.30	46.11.16	静 岡	鐘淵紡績 KK 静岡工場鐘紡芙蓉学院	家庭系各種学校	43. 6. 6
46. 5.31	46.12. 2	神奈川	東京芝浦電気 KK トランジスタ工場技能者訓練所	高等職業訓練校	41.12.27
43. 3.31	"	"	トキコ KK トキコ産業学校	"	41. 4. 4
44. 6.21	47. 2. 7	東 京	鐘淵紡績 KK 東京工場鐘淵文化学院	家庭系各種学校	43. 6. 6
47. 3.31	47. 4.12	大 阪	北陽無線工業 KK 事業内職業訓練所	高等職業訓練校	38. 4. 4
"	"	三 重	四日市市立四日市病院附属准看護婦養成所	准看護婦養成所	43. 8. 8
47. 2.25	47. 5.18	東 京	鐘淵紡績 KK 南千住工場鐘紡文化学院	家庭系各種学校	43. 6. 6
47. 6.16	47. 6.27	栃 木	KK 三豊製作所宇都宮工場職業訓練所	高等職業訓練校	39. 3.16
"	"	茨 城	KK 日立製作所日立工場技能者養成所	"	39. 9. 3
"	"	"	KK 日立製作所国分工場技能者養成所	"	"
"	"	"	KK 日立製作所勝田工場技能者養成所	"	"
"	"	"	KK 日立製作所水戸工場技能者養成所	"	"

47. 6.16	47. 6.27	神奈川	KK日立製作所横浜工場技能者養成所	高等職業訓練校	39. 9. 3
"	"	埼玉	富士電機製造KK吹上工場技能者訓練所	"	40. 4.26
"	"	東京	東京芝浦電気KK府中工場技能者訓練所	"	40. 7. 3
"	"	"	KK日立製作所亀有工場技能者養成所	"	41. 6. 6
"	"	愛知	日清紡績KK針崎工場附属龍城高等学園	家庭各種学校	43. 6. 6
"	"	"	日清紡績KK名古屋工場親和高等学園	"	"
"	"	和歌山	日東紡績KK和歌山工場広陵高等学院	"	"
"	"	愛知	日清紡績KK美合工場附属千歳学園	"	43. 6.18
"	"	奈良	ニチボーKK高田工場高田高等学院	"	43. 7.11
"	"	愛知	三共毛織KK祖父江工場三共学園	"	44. 2.10
"	"	大阪	日立マクセルKK日立マクセル女子学園	"	44. 2.10
"	"	愛知	日清紡績KK戸崎工場附属清和高等学園	"	44. 3.17
"	"	愛媛	今治商業高等専修学校	商業系各種学校	"
"	"	岩手	岩手県立農業試験所	公立試験場	44. 3.29
"	"	京都	日本レイヨンKK京都青雲学院	家庭系各種学校	"
"	"	大阪	帝国産業KK帝国産業高等学園	"	43. 6. 6
"	"	富山	富山県立新湊高等技能学校	専修職業訓練校	45. 2. 9
"	"	"	富山県立波高等技能学校	"	"
42. 3.31		大阪	くろがね共同職業訓練所	高等職業訓練校	38. 4. 4
			(他 1 施設)		

告示不明

指定解除技能教育施設一覧および指定年度、廃止年度別解除状況は、それぞれ表Ⅳ－９、表Ⅳ－１０のとおりである。⁽⁵⁾これ等の表から明らかな通り、廃止した半数は、「指定の基準」改正以前の認定事業内職業訓練所であることが明らかとなる。また、その種類別解除状況は表Ⅳ－１１の通りである。

この表から明らかな通り、解除された指定技能教育施設のうち、認定事業内職業訓練所が１７か所、事業内各種学校のうち家庭系のものが１６か所解除されている。告示の上からみると「指定の基準」に違反したことによって解除をうけた技能教育施設はなく、そのすべてが自主的に廃止している。このことから、その廃止が中卒者対象の技能連携制度であるため、進学率の上昇に伴う生徒の減少によるものと推定される。

表Ⅳ－１０ 技能教育施設の指定解除状況
昭和４７年６月２７日現在

年度	告示年度別数	廃止年度別数	指定年度別数
38			6
39			5
40			5
41			3
42		2	1
43		1	18
44	1	1	2
45	3	8	
46	10	6	
47	26	22	
合計			40

表Ⅳ－１１ 技能教育施設の種類別廃止状況
昭和４７年６月２７日現在

技能教育施設の種類		施設数
職業訓練所	認定事業内職業訓練所	17
	県立専修職業訓練所	2
各種学校	家庭事業内工業	16
		2
	私立商業系	1
准看護婦養成所		1
農業試験場		1
合 計		40

(注) ただし、２施設は、告示が不明であるため、ここでは省いておいた。

第二節 技能連携の質的実態

前節において明らかにしたように、昭和４２年の「指定の基準」改正による大幅な基準緩和によって多種多様な技能教育施設が、連携の指定をうけた。ここでは、前掲の表Ⅳ－５⁽⁶⁾技能教育施

(5) 本論文ページ１３４～１３６を参照。

(6) 本論文ページ１３０を参照。

設の種類別指定状況および表Ⅳ-12 に掲げる技能教育施設の年度別、教科目別指定状況に基づき、質的実態について明らかにする。参考に、高等学校学習指導要領（昭和35年10月15日文告第94号）中高等学校の職業教科目を表Ⅳ-13 にあげておく。⁽⁷⁾ 質的実態の第一は、連携できる教科目の拡大についてである。表Ⅳ-12 から明らかな通り、工業系技能教育施設の指定状況

表Ⅳ-12 技能教育施設の年度別、教科目別指定状況

昭和47年6月27日現在

施設数 年度	工業		家庭		商業		看護		農業	
	指定数	現在数	指定数	現在数	指定数	現在数	指定数	現在数	指定数	現在数
昭和37年度	2	2								
38	16	9								
39	16	11								
40	11	6								
41	8	5								
42	6	5								
43	20	20	76	61	26	25	44	43	4	3
44	28	26	11	11	7	7	51	51	3	3
45	17	17	5	5	2	2	15	15		
46	3	3	8	8	1	1	8	8	1	1
47					1	1				
	127	104	100	85	37	36	118	117	8	7

況は鈍化している一方、家庭、商業、看護等の技能教育施設が数多くの指定を受けている。こうした技能教育施設の実態と同様に連携教科目については、工業科目の指定は増加していない。このことから、技能連携制度成立の時点の基幹産業部門の工業教科目中心の指定から、非製造業部門の教科目中心に移行していったことが指摘できる。その第二は、技能教育施設の修業年限が3年から1年に引き下げられることによって公共職業訓練校が加わってきたことである。表Ⅳ-5 から明らかな通り、職業訓練所54か所中26か所は公共職業訓練所である。このことから、勤労青少年とは言えない公共の訓練生が技能連携制度に加わってくることになり、技能連携制度が二重負担の軽減という建て前と異なる内容を持つに至ったと言える。その第三は、修業年限1年

(7) 本論文ページ138～142参照

表 IV - 13 高等学校の職業教科目 (昭和35年学習指導要領より)

家庭																				
家庭一般	被服 I	被服 II	食物 I	食物 II	保育	家庭経営	被服材料	被服経理	意匠製作	被服製作	手芸	栄養	食品衛生	食物衛生	献立・調理	大量炊事	小児保健	児童心理	児童福祉	
4	2 6	2 6	2 6	2 6	2 6	2 6	2 6	2 6	2 6	6 20	2 10	2 6	2 6	2 6	2 6	6 20	2 6	4 12	2 6	2 4
保育原理	保育技術	家庭の他の科目に関するもの	工作物	園芸	畜産	土・肥料	作物保護	農畜産加工	農業機械	農業土木	農業経営	総合農業	野菜園芸	果樹園芸	草花園芸	家畜栄養・飼料	家畜衛生	飼料作物	栽桑	養蚕
2 6	8 20		2 12	2 12	2 12	2 4	2 4	2 6	2 6	2 4	2 12	24 40	2 12	2 12	2 12	2 6	2 6	2 10	2 6	2 8
農業																				
蚕糸・製織	蚕種製造	農産加工	畜産加工	応用微生物	食品化学	製造機器	農産加工経営	測量	応用力学	農業土木設計	材料施工	水理	農業水利	農地造成	育林	伐木運材	砂防	林産製造	木材加工	
2 4	2 4	2 4	3 15	3 12	3 10	2 10	2 10	2 4	2 12	2 6	4 6	3 6	3 6	3 8	2 5	2 15	2 10	2 15	2 10	2 15

森林經理・法規	造園計画	造園材料	造園施工	都市計画	造園	農業一般	林業一般	総合実習	農業に関するその他の科目	機械実習	機械製図	機械工作	機械材料	機械設計	機械応用力学	原動機	工業計測	自動車実習	自動車構造	自動車整備
2	4	3	3	2	2	2	2	2		10	6	2	2	2	2	8	2	8	2	2
15	15	8	8	4	6	10	10	12		25	16	20	8	12	8	10	8	25	8	12
工業																				
自動車試験	自動車法規	造船実習	船舶製造	船舶構造	船舶装	船舶工作	船舶計算	船舶応用力学	船舶設計	船舶用機	溶接	船舶法規	電気実習	電気製図	電気理論	電気計測	電気機器	発電配電	電気応用	電子工学
2	1	5	5	2	2	2	2	2	2	2	2	1	6	4	5	2	3	3	2	3
8	3	20	20	8	6	15	8	8	6	6	6	3	20	12	10	4	6	8	6	8
建築																				
電気材料	電気法規	自動制御	電子実習	電子製図	電子現象	電子回路	電子機器	電子計測	電力設備	電子応用	通信機器	建築実習	建築設計製図	建築材料	建築構造	建築構造力学	建築構造計算	建築史	建築計画	建築設備
2	1	2	6	4	2	4	3	2	2	2	2	4	5	2	2	3	2	2	2	2
4	3	6	20	8	4	10	10	8	6	6	6	20	20	6	6	6	6	4	8	4

化学工業試験	化学工学	工業物理化学	有機工業化学	無機工業化学	工業化学実習	土木経営	土木施工	通路	土質	水工	水理	土木設計	土木応用力学	測量	土木製図	土木実習	建築法規	建築経営	建築工法	建築測量
2	3	4	2	2	10	2	2	2	2	3	2	3	2	2	4	4	1	2	2	2
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
8	8	8	4	4	25	4	10	8	4	8	4	10	8	8	15	20	3	6	6	6
染色理論化学	染色薬品	染料仕上料	織物仕上	染色	織維	色染化学実習	窯業図案	窯炉・燃料	特殊窯業製品	セメント	ガラス・ぼうろ	耐火物	陶磁器	窯業原料	窯業実習	化学工業経営	化学工業計画	化学装置	化学反応	化学工学実習
2	2	2	2	5	2	6	2	2	2	2	2	2	2	2	10	2	2	4	6	10
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
6	6	4	5	15	6	20	6	6	4	6	8	6	8	4	25	6	6	8	10	25
金属工業実習	冶金実習	鉍業法規	探査	鉍床	鉍山機械	石油	鉍山保安	火薬	地質鉍物	選鉍	採鉍	採鉍	採鉍	染織図案	編織組	紡織績	紋織	織物機械	織物組織	紡織実習
10	10	1	2	2	2	2	2	2	2	2	5	10	2	2	2	4	2	2	6	2
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
25	25	3	4	4	4	4	4	4	8	8	12	25	4	4	6	8	4	5	5	4

商業デザイン	工業デザイン	造形美術史	造形・意匠	デザイン実習	塗装	工業工作	工業材料	工業材料力学	工業計画	工業史	造形	絵画	工業製図	工業実習	工業分析	炉・燃料	金属組織	金属製錬	金属加工	金属材料
2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	6	6	2	2	2	2	2	2
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
4	6	4	6		8	8	8	4	6	4	8	20	20	20	8	4	4	4	10	10
商業一般	の他の科目 工業に関するそ	冶金一般	採鉱一般	紡織一般	染色一般	化学工業一般	土木一般	建築一般	原子工学一般	機械一般	電気一般	自動車一般	機械・電気	製図	工業概説	工業経営	写真・印刷	彫塑	意匠製図	工業デザイン
2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
5		4	4	4	4	4	4	4	6	8	6	6	6	8	4	8	8		6	4
商業																				
水産一般	の他の科目 商業に関するそ	貿易実務	商業実践	商業美術	速記	英文タイプライ	英文タイプライ	和文タイプライ	商業英語	文書実務	統計実務	計算実務	会計	工業簿記	銀行簿記	商業簿記	商業簿記	商業法規	経済	商業
2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}	}
3		5	5	4	6	6	6	6	4	4	4	8	4	4	4	6	5	5	4	3

水産																			機関設計工作
水産生物	海洋・気象	漁業	漁船	航海	航海計器	運用法規	海事法規	水産法規	水産製造	水産化学	水産微生物	冷蔵・冷凍	ボイラ	水産製造法規	水産増殖	水産土木	水産経営	水産簿記	漁船機関
2	2	2	2	4	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	{
12	4		5	10	3	8	4	3	12	12	3	5	3	3	15	3	15	15	20
船舶用電機	電気通信理論	無線測定	無線機器	無線通信	通信法規	海事概要	交通地理	海洋実習	総合実習	漁業乗船実習	機関乗船実習	その他の科目 水産に関するそ							
2	3	3	5	8	5	2	2	2	5	(1)	(1)								
{	{	{	{	{	{	{	{	{	{	3	3								
8	8	6	8	15	8	3	3	4	10	か月	か月								

以上、指導時間数 680 時間という規定からも明らかな通り、技能連携「指定の基準」が各種学校の規定にまで引き下げられることにより各種学校が多数、指定を受けていることである。内容についてみると、事業内各種学校のほとんどが家庭系各種学校であることがわかる。また、⁽⁸⁾ 私立の各種学校 74 か所中 34 か所は家庭系各種学校であり、37 か所は商業系各種学校である。このことから、各種学校への指定拡大は、技能連携制度の性格が、従来の基幹産業教科中心から非製造業関連教科への転換に大きな部分をしめていることが明らかになる。この傾向は准看護婦養成所が、新に指定されることによって、一段と促進されている。

(8) 本論文ページ 130 の表 IV-5 参照

以上のような実態分析から、昭和 42 年の学校教育法施行令中改正（政令第 375 号）および技能教育施設の指定等に関する規則中改正（文部省令第 20 号）に基づく改正下の技能連携制度の特徴と課題について明らかにしたい。その特徴は、次の六点到整理される。その第一は、技能連携制度の目的が、高等学校の教育機会の拡大および「二重負担の軽減」という点にしばられていったということである。その第二は、連携教科目が工業科目のみから高等学校の職業科目すべてに拡大されたことにより、連携の内容が基幹産業中心の教科目から高等学校の職業科目全般にひろがったことである。その第三は、修業年限、指導時間数が各種学校の規準まで引き下げられることにより、連携対象技能教育施設が認定職業訓練所から各種学校、准看護婦養成所、公共職業訓練所等にまで拡大されたことである。なかでも、家庭系各種学校、商業系各種学校、准看護婦養成所など、以前と質的に異なる技能教育施設が多数加わったことである。その第四は、認定事業内職業訓練所と事業内各種学校が、主として大企業のものであったことである。その第五は、連携高等学校の主体が依然として単独の広域通信制高等学校に集中していたことである。その第六は、技能教育施設の種類別によって地域的な特色を持っていることがうかがわれることである。

ところで、このような特徴を内在している改革後の技能連携制度は、改革前のそれに比し、どのように評価されるべきであろうか。

その第一は技能連携の拡大にかかわる問題である。この点については、今次の改正は、高等学校教育機会の拡大及び「二重負担の軽減」に関し、評価すべき側面を相当含んでいたといえよう。この側面に関する限り、それは「整備拡充」として位置づけることができる。このような評価に対し、すでに行論で明らかな通り、岩井氏・原氏等の批判的見解があることはいうまでもない。これ等の批判が意味する教育学上の問題も忘れてはならない。しかし、それと同時に、改革後の技能連携制度が勤労青少年の高等学校教育機会の拡大及び「二重負担の軽減」に、まぎれもなく貢献した事実も評価しなければならないであろう。たしかに、技能連携制度は、勤労青少年の高等学校教育機会の拡大とのかかわりでは、きわめて限定的な制度である。しかし、この見地から連携制度を批判するとすれば、それは必ずしも妥当な見解であるとはいえない。というのは、この制度はもともとすべての勤労青少年に高校教育機会を与える制度として、構想されていないからである。

その第二は技能連携の質にかかわる問題である。特に技能者・技術者養成に限定して評価するならば、この制度は新しい技能者・技術者養成の制度化への試みとして見るべきものがあるように思う。というのは、「技術革新」下の技能者・技術者養成が工業高等学校・職業訓練の現制度において、必ずしも十分成功しているとはいえない今日、新しい技術教育制度への問いかけと

して、位置づけることができるからである。本論文ではこの側面における具体的な実践内容を明らかにできなかったが、筆者の幾つかの聞き取りによれば、今後とも大いに期待できるところである。しかし、そのためには、そのカリキュラム、教員組織、教育管理等に検討を要する諸事項の存在が認められる。